

● 草の根協力支援型

2017年度第1回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	インドネシア
2. 事業名	車いす整備・修理技術の移転 in Bali
3. 事業の背景と必要性	バリ島では車いすの整備・修理ができる場所は1団体（作業員2名）だけで整備・修理者は不足している。当会は2016年度JICA基金により、パートナー団体に「車いす整備と修理」基礎講座を実施したが、短期間では技術は定着しない。OJTを続け、多種類の車いすを扱う指導をし、シート作成など上級レベルの修理技術を伝授する。現地の材料を使った修理のやり方も学びプロジェクトの持続性を高める。以前の講習に参加できなかった2団体からの要望を入れ、計3団体で整備・修理技術者を増やし、バリ島在住の車いす使用者が安全な車いすで外出し、社会の目に触れ、まだ残る障がい者への偏見と差別軽減にも寄与したい。
4. プロジェクト目標	車いすを長く安全に使用できるように、障がい者や施設スタッフおよび障がい者家族・友人が、自分たちで車いすの整備・修理ができるようになる。
5. 対象地域	バリ島ギヤニャール県、デンパサール市
6. 受益者層（ターゲットグループ）	バリ島ギヤニャール県の2NGO団体（セナンハティ・チャハヤ）、デンパサール市の1NGO団体（ブンガバリ）の障がい者、施設スタッフ、及び障がい者家族・友人、合計約40名
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい者、施設スタッフおよび障がい者家族・友人が、車いすの整備・修理技術を習得する。</li> <li>2. 整備マニュアルを作成することにより、習得した技術を活用し、継続して自分たちで車いすの整備・修理ができるようになる。</li> <li>3. 日本的な「整理・整頓」の理解と定着により、安全で作業しやすい環境作りを推進し、ワークスペースの効率化が図れるようになる。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 車いす整備技術スキルマップ表を作成する。</li> <li>1-2. 「車いす整備・修理（基礎編）」のワークショップを開催する。</li> <li>1-3. 座面や背もたれの制作や修理を含む「車いす整備・修理（応用編）」のワークショップを開催する。</li> <li>2-1. 現整備マニュアルのリニューアル（応用編追加など）とインドネシア語教材を作成する。</li> <li>3-1. 整理・整頓講習の理解度チェック表を作成する。</li> <li>3-2. ワークショップにて、工具のチェック、整理・整頓などの、日本的な作業環境の改善方法について教える。</li> </ol>
8. 実施期間	2018年8月～2021年2月（2年6ヶ月）
9. 事業費概算額	9,990千円
10. 事業の実施体制	Yayasan Bhakti Senang Hatiをカウンターパートとして、現地補助員などの協力と各団体との連携を活かし、プロジェクトマネジャーと当会整備班などの数名が現地でワークショップを実施する。
<b>II. 提案団体の概要</b>	
1. 団体名	特定非営利活動法人「飛んでけ！車いす」の会
2. 活動内容	1998年設立以来、世界79か国に2700台の中古車いすを使用者の体形に合わせて選定し、丁寧に整備し旅行者の手により直接届けている。